

市内景気動向調査結果

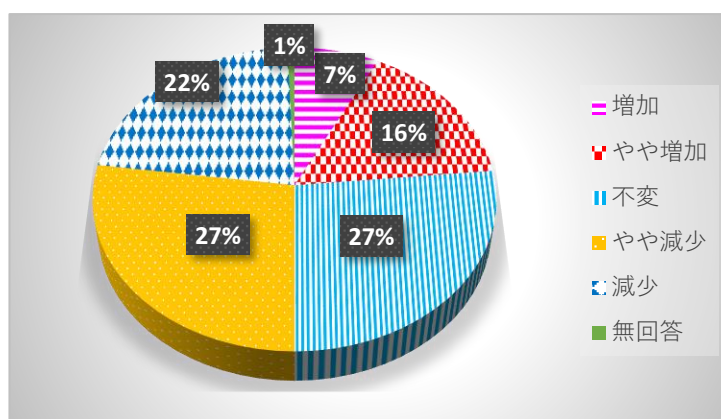
この調査は、第4四半期（本年1月から3月）と前年の同期間（3ヶ月）を比較し当商工会員より回答いただいたものです。

有効回答数	建設業	製造業	運輸業	卸小売業	サービス業	その他
162	43	29	14	26	38	12

※その他は、回答数が少なかった不動産業、金融保険業、飲食業

1. 売上高はどう変化したか。

増加	12
やや増加	26
不変	43
やや減少	44
減少	36
無回答	1
合計	162

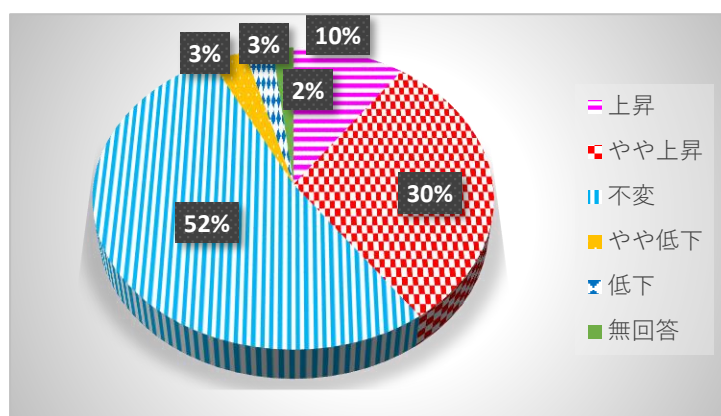


【コメント】

- 増加・やや増加が23.5%、不変が26.5%、やや減少・減少が49.4であった。前期は、増加・やや増加が25.9%、不変が26.7%、やや減少・減少が46.7%で若干悪化傾向が見られる。
- 増加・やや増加の業種別割合は、卸・小売業が38.5%、建設業が14.0%、サービス業が34.2%、製造業が13.8%であった。
- やや減少・減少の業種別割合は、運輸業が50.0%、製造業が69.0%、卸・小売業が50.0%、サービス業が39.5%、建設業が39.5%であった。
- やや減少・減少で、運輸業は前期の76.9%から50.0%へ改善している。卸・小売業は前期の40.0%から50.0%となっている。

2. 仕入単価はどう変化したか。

上昇	16
やや上昇	49
不変	85
やや低下	5
低下	4
無回答	3
合計	162



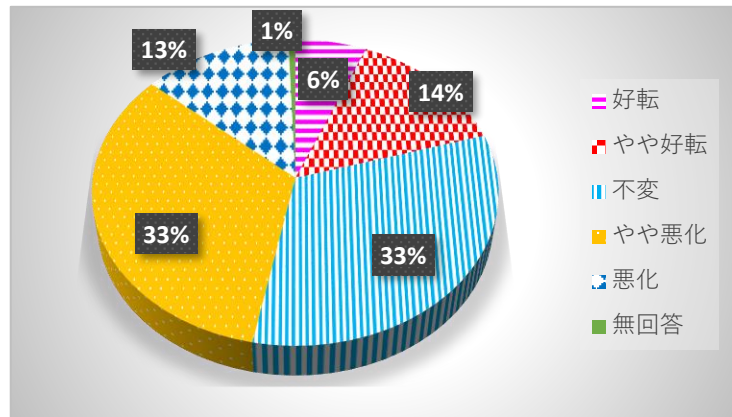
【コメント】

- 上昇・やや上昇が40.1%、不変が52.5%、やや低下・低下が5.6%であった。前期は、上昇・やや上昇が27.4%、不変が62.2%、やや低下・低下が8.2%で仕入単価は大きく上昇傾向にある。
- 上昇・やや上昇の業種別割合は、製造業が48.3%、卸・小売業が46.2%、建設業とサービス業が39.5%、運輸業が14.3%であった。

ほぼ全ての業種で仕入単価が上昇しているが、運輸業は前期よりも16.5ポイント改善している。

3. 採算について

好転	10
やや好転	23
不変	53
やや悪化	54
悪化	21
無回答	1
合計	162

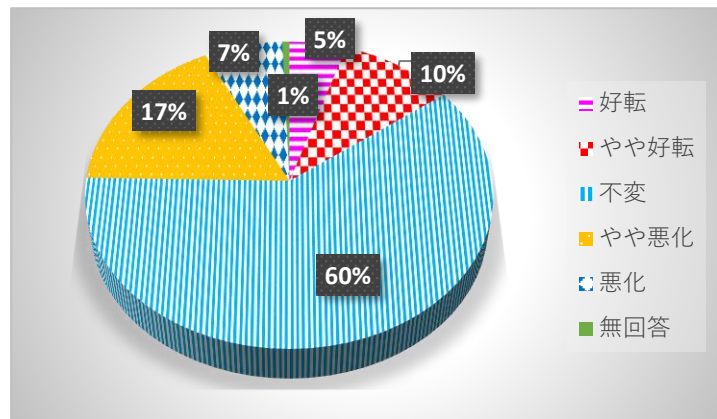


【コメント】

- 好転・やや好転が20.4%、不変が32.7%、やや悪化・悪化が46.3%であった。前期の好転・やや好転が20.0%、不変が40.7%、やや悪化・悪化が39.3%で悪化傾向が見られる。
- やや悪化・悪化の業種別割合は、製造業62.1%、運輸業が50.0%、卸・小売業が46.2%、建設業が39.5%、サービス業が36.8%であった。

4. 資金繰りについて

好転	8
やや好転	16
不変	98
やや悪化	28
悪化	11
無回答	1
合計	162

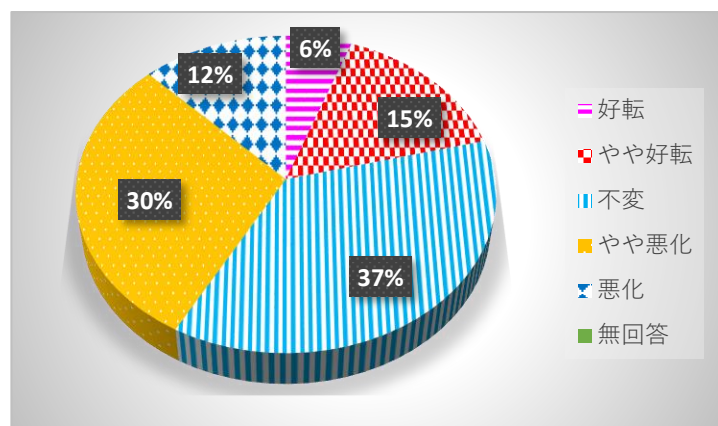


【コメント】

- 好転・やや好転は14.8%、不変が60.5%、やや悪化・悪化が24.1%であった。前期の好転・やや好転が18.5%、不変が59.3%、やや悪化・悪化が21.5%であった。売上高の減少、採算性の悪化が資金繰りにも影響を与えている。
- 資金繰り悪化の割合が高い業種では、運輸業が35.7%、製造業が27.6%、建設業が20.9%であった。

5. 業況について

好転	9
やや好転	25
不変	60
やや悪化	48
悪化	20
無回答	0
合計	162

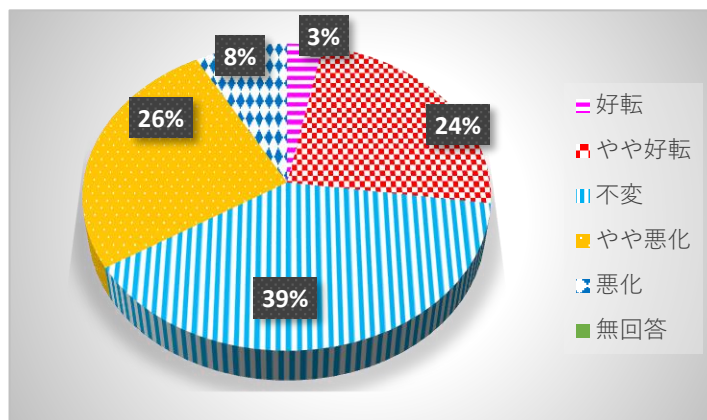


【コメント】

- 好転・やや好転は21.0%、不変が37.0%、やや悪化・悪化が42.0%であった。前期は、好転・やや好転が20.0%、不変が34.1%、やや悪化・悪化が45.2%で前期とほぼ同様。
- やや悪化・悪化の割合が高い業種は、製造業が55.2%、卸・小売業が53.8%、運輸業が50.0%、サービス業が34.2%、建設業が27.9%であった。

6. 今後3ヶ月間の業況について

好転	5
やや好転	39
不変	63
やや悪化	42
悪化	13
無回答	0
合計	162



【コメント】

- 好転・やや好転が27.2%、不変が38.9%、やや悪化・悪化が34.0%で、前期は好転・やや好転が13.3%、不変が38.5%、やや悪化・悪化が45.9%であった。
- 今期はどの回答でも悪化傾向であるが、新型コロナウイルスの影響が和らぐ、または期待感から好転すると回答した方が前期に比べて増加した。

■回答事業所からのコメント

【建設業】

- コロナの影響により工事量の減少が回復に向かってきています
- 集客数、契約件数は前年よりも好調でしたが、残念ながら売上は前年を下回る結果となりました。要因としては、コロナ禍により消費者は出費を抑える傾向にあり、前年より1件当たりの平均単価がダウンしたことが売上減少となった
- 関連業界がコロナ禍で低迷している影響が仕入単価にも、採算にまで及ぶ。ユーザーも不安定な状況に出費を控える状況にあります
- 冬期の現場数が少なく、売上は減少しました
- 仕事始めのためと予約と契約が決まりました
- ボールパークがらみで市発注工事が増加。1～2年後先細りする
- 繁忙期に突入するため好転と予測（石油業界における設備投資の相談案件が増えている）
- 完成工事の時期による売上高の減少
- コロナの影響で仕事の開始が遅れている状況です
- 前年同期は特別に売上が多かったため、このような結果になっていますが、今年単体で見ると例年と変わることなく推移しています
- 今、影響はそこまで受けていないが、今後どうなるか分からない
- ボールパーク、震災関連での公共工事の増加
- 建設業界は3ヶ月単位での判断はできない。1年間を通して判断します。工事の発注は5月くらいから始まります
- 受注高の変化はありません
- 建設業は毎年、1～3月まで本州の仕事があり出張していたが、本州との行き来ができないため全部中止になった
- ボールパーク関連（市発注）の工事を継続的に受注しているが、施工する人員が不足がちで受注できる件数に限界がある

- 当社は12月～3月まで仕事をしていないため売上がゼロ。ここ数年売上がなく比較はできません
- 札幌圏の観光宿泊業と取引しており、観光客が減っている前提で取引量も削られ、おのずと売上が減少している
- 冬は基本的に本業は休みにしているため、春先から稼働。しかし今年はコロナの影響があると思うので、先は見通せない
- コロナの影響は出てきました。現場は1ヶ月の中止になりました。個人のお客様はコロナウイルス感染防止のため仕事の着工の見通しが立たない
- 仕事の状況は今のところ安定しています

【製造業】

- 季節的、コロナ、工事量の減少
- コロナの影響をあまり受けなかった。銅の価格高騰により部品単価が上昇し、コストアップとなった
- 受注した案件の納期が期限未定のまま延期になったため、業況が悪化すると思われます
- 飲食店等に納品している量が減少しました。コロナの影響も受けていると思います
- 新型コロナウイルスの間接的な影響により一般の風邪薬の消費が減少しており、業況は厳しい業況となっている
- 当社は鉄工業を営む会社。業界トピックスとなるが全世界を見渡してみてもミル（製鉄所）はフル稼働にある。顕著な変化が見られたので昨年秋。自動車向け復調が一気に起こり生産が追いつかない状況になっている。しかし当社のような店売りはミルの自動車優先受注調整により全国的に仮需が発生し在庫不足が続いている。急激な値上げも伴うものであるが、このように鉄鋼商品の源となる材料獲得が最優先にあり、今期は前期とは異なる予断を許さない極めて難しい状況のスタートを切っている。
- 昨年のコロナの影響による原油需要の低下とワクチンによる景気回復の見込みにより原油価格が上昇している。実際にはコロナによる売上減少、上記理由による原価の上昇で悪化が続く
- 20年度に延期、凍結、見直しとなった商談案件が少しずつ動き出し、21年度の売上高増収へ改善する見込み
- コロナ禍による影響
- コロナ禍、前年のようなお取り寄せの売上は見込めないながらも通信販売の方では、送料の見直しや企画の提案を続けることで売上をキープしていけるようにと考えています。ただ併設しているカフェについては席数が減少し、営業日も半減しつつ営業を続ける中、感染者が増加すれば客足も減ることになるかと思えます。※札幌の飲食店で見かけた、食事時のコロナ対策が標記されたリーフを北広島市からも提案してくれると有り難いです。食事を提供する側だけでなく、利用するお客様にも必要かと
- イベント等の中止により受注が大幅に減少した
- コロナに対する先行き不安が以前よりは小さくなってきており、世の中全体が経済を回そうと傾向にある
- コロナかな
- 賃金の上昇が見込まれないため、所得を住宅リフォームや新築に回せないことから、住宅関連の新規需要は先細りしている。
- 中国経済のコロナからの回復が顕著で、鉄鋼他材料等の値上がりが大きく、今後転嫁できるかが心配です。仕事量では前期は受注できていますが、後半はコロナの影響がどう出るか分かりません
- 工務店廃業による減とエンドユーザーからの紹介増のためプラスマイナスゼロ
- 産業廃棄物の回収物量は昨年比プラス188t（1～3月）。コロナの影響により事務所のレイアウト変更が増えたことや新車の購入控えによる車両の点検、修理増が起因していると思われる。原油価格の下落により、再生重油販売が大きくマイナス（1～3月）。鉄・非鉄金属の売却、油漏洩事故対応業務は好調
- コロナ禍の中、イベントの中止等により印刷、出版物の減少により発注が極端に

減った

- 前年同期より新型コロナウイルスの感染が拡大しアルコール消毒液の売上が増加しましたが、現在は流通するアルコールも増え販売数量はやや減少しております。今後もアルコール消毒剤の必要性(需要)はありますが、更なる拡大は見込めないと想定しております

【運輸業】

- 見通しは不安定である
- コロナ
- 企業による設備投資の減少、展示会などのイベント中止
- 軽油単価が上昇すると採算は悪化する可能性あり
- 1月～3月 冬期仕事少ない(元々の状況)
- 主として新型コロナウイルスによる観光事業の減少。教育旅行において助成はあるものの、全体としてバス産業は不況であり、各自治体についてもバスそのものが主要事業で認められず、助成事業の恩恵も少ない
- 委託配達をしていますが、担当区域の変更、新型コロナウイルスによる巣ごもり効果により取扱量は増加しました

【卸小売業】

- 医療機関への患者さんの罹り控え
- 新聞代の値上げで利益が出るようになった。チラシの復活
- 売り先の変化に対応しきれず
- コロナによって販売数は減少しているが単価を上げることで売上を確保できた
- コロナの影響を受けにくい業界のため、特に変化はありません
- コロナウイルス発生に伴い各農家および関係事業者への外交訪問ができず(感染の恐れのため)売上に影響があったと思われる
- 社会情勢が好転する実感がなく、購買意欲の低下を感じる
- 国のゼロカーボン政策が、まだまだ一般市場には浸透していないので、これから好転するが時間がかかる
- 主取引先がホテル、飲食関係のため
- 新聞購読料の値上げにより売上は維持。仕入単価は上昇。折込収入の減少が大きく粗利は大きく減少
- コロナ禍での地方への営業が思うように行かず売上も利益も減少した。特に札幌ナンバーの車で地方に行くと「何しに来た、帰ってくれ」と何度も言われた。不要不急の外出は避けてくださいというのは、座して倒産を待つだけ。我々は政治家や公務員、教員と違って稼がないと食っていけない。毎月決まった給料が振り込まれる人達には分からないと思う
- 前年度の売上は過去の例とはかなり異なっていたため(内容的に)、コロナの影響が大きかったのではと考えております。よってQ7については、予想は難しいところです
- お店、会社、施設等で使用する感染対策商品の動きが好調。また昨年コロナの影響で止まっていた工事関係の動きが見られ、工具や資材も好調に推移している。今後に関しては昨年好調だったガーデニングやDIY、アウトドア、エアコンといった巣ごもり需要商品が昨年より若干落ち込むと予測されるが、今後のコロナの状況によっては逆に伸びることも考えられるので不変としました
- Q7. コロナ禍の補助金などでの備品の購入なども無くなるかと思われ悪化すると予測
- PC売上は増加していますが、贈答品は低下しています
- 先が見えないコロナ禍のため必要とする商品が入荷しない。客足も減っているため。相談客もじっくり話を聞けなくなっているため

【サービス業】

- ゴルフ場冬季クローズ期間12月～3月。4月7日より再開。全国的なゴルフ場傾向としては回復気配
- 昨年同様、公共事業も大きく変わらず出ており、建設業に左右される業種のため昨

年並みと予想

- 整備業界はあまりコロナの影響はありません
- 降雪量によって業績が左右される時期なので、例年より少なめの降雪量のため除排雪出動が少なかった分売上が下がった感じがします
- GOTOトラベルの中止、緊急事態宣言の再発令などもあり、客数は大きく減少した
- 取引先（元請け様）の業績悪化のため仕事量が減少
- 昨年より建設業が好調を維持しているため
- 売上単価は下落しているが、これを数量増でカバーしている状況
- 建設業において新規物件数の減少と各事業者においても設備投資は控え、先が見えない状況にあります。物価は確実に上昇し、出費は増となっていますが、上昇分を当社の単価に改定できません
- 昨年末の工事着工の延期、中止の影響により、本年1～3月は完全に動きがなくなりました。4月以降は昨年の反動で計画が多く残っており、予定どおりであれば好転すると予想されます
- 事務所開設から1年が経過し、だいぶ顧客からの認知が進んだ
- コロナの影響がまだ色濃い
- 昨年は2月末から3月は事業展開ができない状況でしたので、今年は平常に事業ができていくことだけでも好転と言えますが、コロナ禍で子どもたちの授業の遅れを取り戻すためなのか、生徒数も増え、更に教室数も増えたことが要因と考えられます
- コロナ休業での余波から売上減少になったが、少しずつ復帰の目処
- 来店周期が長くなって、売上曲線が緩く大きくなっているため
- コロナの影響で仕事は減少していると思います。今、道外に行って仕事をさせてもらっているため、5月から道内に戻ってきたときに仕事があるかどうか不安です。道からの交付金のおかげで何とか資金繰りは回っています。ありがとうございます
- コロナに左右されないビジネスを始めた
- コロナでまともな営業活動ができず、先が見通せない
- コロナの影響
- 当校は大学生が多く、コロナウイルスの影響からリモート事業で自動車運転免許を取得する方が多かったと思われます
- コロナ禍で病院を閉めています。病院の人数制限、通院の人も足が遠のくので使用数が減少
- コロナによる自粛制限等、旅行など移動が少ないためだと思われます
- 前半はキタヒロトレジャーやプレミアム商品券の駆け込み利用もありましたが、新年会や会合など通例の大型のご予約が全くゼロであったことに加え、札幌との往来自粛や外食自粛の影響は大きく、4月以降も新型コロナ第4波の影響が懸念されます

【飲食業・不動産業・金融保険業】

- 市内不動産が上昇しすぎたためバブルがはじける予想。地価が上がりすぎ若い人が買うことができなくなり、結果人口減
- コロナが影響していると思う。Q7については季節。今年も去年と同じく大変な1年になりそう
- 長引くコロナ禍の収束が見通せず、客足が遠のいている。ワクチンの早期接種が望まれる
- 北広島商工会での各種事業が少しずつ再開され、会場を使用される機会が増えたため。しかし引き続きコロナ対策での経費がかかるため、経費他の出費があり業況は良くない
- コロナ禍でイベントの中止で年間40日～50日の売上が消えた中、店での売上が好調のため、対前年の売上をアップする結果となっております
- 客年齢が高く、コロナも重なり減少しています